诵笪連載 60

もう、悩まない! 『石原健の HOTEL LOVERS』

#21-

川崎日航ホテル 料飲部 宴会サービス担当 部長 斉藤 尚郎 氏 第21回目のゲストは、川崎日航ホテルで料飲部宴会サービス担当部長を務める斉藤尚郎氏。学生のころから観光業界に興味を持ち、航空会社に入社。その後、日本航空ホテル株式会社に転職。以降、銀座と川崎のホテルを行き来する形に営業に励んできた。そして60歳の定年を迎え、新たなステージを迎えた斉藤氏にこれまでのキャリアや、今後のビジョンについて聞いた。



川崎日航ホテル 料飲部 宴会サービス担当 部長 **斉藤 尚郎 氏**

約35年間、銀座と川崎で営業に励む

石原 斉藤さんとの出会いは、設立して しばらくたった頃の「HSN(ホテルセー ルスネットワーク)会」でしたね。先日 の80回記念大会にもご参加くださりあ りがとうございました。それでは、まず はホテリエになられたきっかけから教え てください。

斉藤 高校時代に観光に興味を持ち、早く社会に出たかったので、専門学校か短期大学を目指し、東洋短期大学のホテル観光学科に入学しました。当初は旅行会

社に行きたくて、アルバイトも近畿日本ツーリストで行ないましたが、短大卒の募集がないことを知りエアラインに切り替え、日本航空の関連会社である「花王航空㈱」に入社しました。旅客課に配属となり、チェックインやバゲッジハンドリングなどを行なっていました。面白い仕事でしたが、体力仕事で単純作業が多いので違う仕事もしてみたいと考えていた矢先に、JALグループの「川崎日航ホテル」が2年後のリニューアルオープンに向けスタッフを募集していることを知り、新たなチャレンジ先としてホテル業界へ転職しました。

石原 旅行代理店、航空会社、そしてホテルと、観光に関する業界にずっと携わってこられたのですね。ホテルでは、どのような部署を経験されましたか。

斉藤 最初は「銀座日航ホテル」に配属となり、料飲部宴会サービス課からスタートしました。3年後に「川崎日航ホテル」の営業部販売促進課へ異動となり、そこからセールスとしての活動が約35年間、川崎と銀座を行き来しながら営業一筋で勤め上げ、2021年に60歳での定年を迎え、営業部長から現在の部署・役職となりました。

石原 料飲部から営業部へは希望された

のですか。

斉藤 人との接触が楽しそうだったので 営業をやりたいと、最初から面接でも伝えました。現場を経験してからでないと 無理だと言われたのですが、従業員向けの宴会婚礼紹介キャンペーンが行なわれた際に、友人や前職の仲間達にも積極的に営業をして、最終的に全社で3位に入ったことで、会社のセールス強化策に伴い異動希望が認められて、3年後に川崎の宴会セールスとして、地元の法人担当となりました。

成功や失敗を繰り返し、 自信を深めたキャリア

石原 長い営業生活の中で、思い出に残る出来事は何でしょうか。

斉藤 セールスを始めたころ新規訪問で 何いご利用いただいた顧客と今でもお付き合いがあり、おせち料理の購入やディナーショーへもご参加いただいております。また銀座時代、クリスマスイブに、王貞治さん、長嶋茂雄さん、徳光和夫さんの対談番組の収録の際に、臨機応変に対応して接遇したところ、長嶋さんがねぎらいの言葉をかけてくださり、サインをいただいたのも嬉しい思い出です。 **石原** 失敗談ついても聞かせて下さい。

斉藤 料理長に一番怒られたのは、140名の宴会を受注して万全の態勢で当日を迎えたのに、自分と先方の幹事が日程を間違えており、お客さまが誰も来られなかったときです。最終確認の際も先方の担当者も間違いに気づかなかったのですが、本来の予定日が3日後で、たまたま会場に空きがあったので事なきを得ました。

石原 日航ホテル一筋での勤務ですが、 途中で転職という考えは起こりませんで したか。

斉藤 異業種も含め話はいくつかいただきましたが、会社に感謝していたのでする気にはならなかったです。通常の業務以外に、27歳で「川崎青年会議所」(川崎JC)への入会、40歳で卒業してからは「川崎ライオンズクラブ」に入会して、20年間の活動中に2回も会長という大役をいただきました。同時に「川崎商工会議所」の青年部や、石原さんと出会った「HSN(ホテルセールスネットワーク)会」など、会社のバックアップでいろいろな方々との出会いや交流ができたことを本当にありがたく思っています。

若いホテリエには、もっとポジティブに 気持ちをもってほしい

石原 ホテリエとして常に心掛けている ことやポリシーは何ですか。

斉藤 既存に満足しないということを基本としています。「創意工夫」が小学生の時から好きな言葉で、ホテルの宴会サービス時代には、テーブルセッティングが誰でも綺麗にできる器具を考え、特許庁に意匠登録もしました。さらに、相手が期待している以上の答えを返すこともモットーとしており、提案力や感性を



磨いて、期待値をこえることで喜んでいただけるように常に心がけています。また利用される方々に期待以上の接遇ができるように、2018年に「川崎産業検定」が始まった際には、第1回目の試験に合格して地元への理解と愛も深めました。

石原 好きなスポーツや趣味、休みの日 の過ごし方についても教えてください。

斉藤 小学校のころは水泳、中学生では 野球部でしたが、途中から父親が柔道を やっていたので柔道部に入り、高校時代 も練習に励んでいました。現在は、25 歳から始めたゴルフが一番の趣味で、50 歳の時にホールインワンも達成していま す。あとはサウナとカラオケ、そして旅 行を企画して楽しく過ごすのがストレス 発散方法でもあります。

石原 若いホテリエに感じることは何で

すか。

斉藤 わからないことや理解できていないことは、臆せず遠慮しないで聞いてほしいです。無口で表情に出さないタイプが多いので、もっとポジティブに積極的になってもらいたいと思っています。

石原 最後に今後のビジョンを教えてください。

斉藤 後輩達に今まで体験した出来事や 学んだことを伝えていきたいです。昔話 や根性論を語るのではなく、お客さまと の接し方、クレーム処理の方法や、注意 しなければいけないことなど、現場や セールスで役に立つことを話していく所 存です。

石原 42 年にも及ぶホテリエとしての 経験を、余すことなく伝えていってくだ さいませ。



機ホスピタリティ デザイン 横浜 代表取締役 石原 健

ザイン 横浜 **!!! !!!**

Profile >桜美林大学経済学部卒業。日本ホテルスクール卒業。ホテル産業経営塾卒塾(第一期生)。ホテルセンチュリー ハイアット勤務後、1989年、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルの開業準備室に第1期生として入社。国内外からのVIP対応等で、4度にわたる皇室接遇担当の栄誉も授かる。ウェスティンホテル仙台を経て、2014年、(㈱ホスピタリティデザイン横浜を設立。厚生労働省事業検討会委員、ホスピタリティ教育研究会会長、HSN会顧問、JARC 理事、産業能率大学兼任教員など、宿泊・サービス業界団体や学校、企業などで活躍中。

001 HOTERES October 2025